

なぜ「PFAS汚染」は 解決の出口が見えないのか

——「環境基準」「排水基準」による規制の導入を！

どなたでも
ご参加ください！

2026.10.28 WED

14:00—16:30 開場13:30

全水道会館 4F 大会議室

東京都文京区本郷1-4-1

JR水道橋駅 東口 徒歩2分

都営地下鉄 三田線 水道橋駅 A1出口 徒歩1分

会場資料代 | 500円

日本国内では現在、化学物質審査規制法によりPFOS、PFOA、PFHxSの3種類の製造・使用が禁止され、各国と比較すると緩いながらも「PFOSとPFOAの合計50 ng/L」という水質基準も定められています。

一方で、全国600カ所以上で50ng/Lを超過するPFAS汚染が確認されており、汚染原因の特定や浄化の取り組みは遅々として進んでいません。環境省は「汚染源の98%は不明」としており、汚染が放置されている状況が続いています。これはなぜでしょうか。

その理由のひとつとして、PFASには環境基準とそれにもなう排出基準が設定されていないことがあげられます。

このシンポジウムでは、水俣病やダイオキシンによる環境被害に対して取られた法規制や対策を振り返りながら、改めて全国的なPFAS汚染の現状を確認したうえで、ここから向かうべき方向について議論したいと思います。

プログラム

総司会 |

寺田良一 高木基金PFASプロジェクト 代表

01 | 講演

中地 重晴 さん

熊本学園大学教授

有害化学物質削減ネットワーク 代表

「PFAS汚染を食い止めるために

ー水俣病やダイオキシン汚染問題の経験や
教訓から、環境規制の必要性を考える」

諸永 裕司 さん

ジャーナリスト

「放置される汚染源 PFAS汚染列島の現在地」

02 | 現地からの報告

丸尾 牧さん

兵庫県県議会議員

藤代 政夫さん

元千葉県県議会議員

03 | パネルディスカッション

中下 裕子

弁護士、ダイオキシン・環境ホルモン対策

国民会議 代表理事

高木基金PFASプロジェクト

ご予約

お申し込みは

こちらのフォームよりご登録ください

会場参加申し込み

オンライン参加申し込み



共催 | 高木基金PFASプロジェクト・NPO法人 有害化学物質削減ネットワーク

ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議・有害化学物質から子どもを守るネットワーク

問い合わせ | takagifund.pfas@gmail.com

Web | <https://pfas.takagifund.org>

このシンポジウムは2026年度地球環境基金の助成を受けています。